

# 都市再生整備計画 事後評価シート

## 多摩センター駅周辺地区

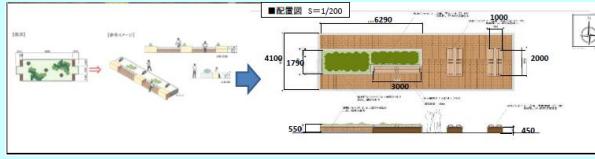
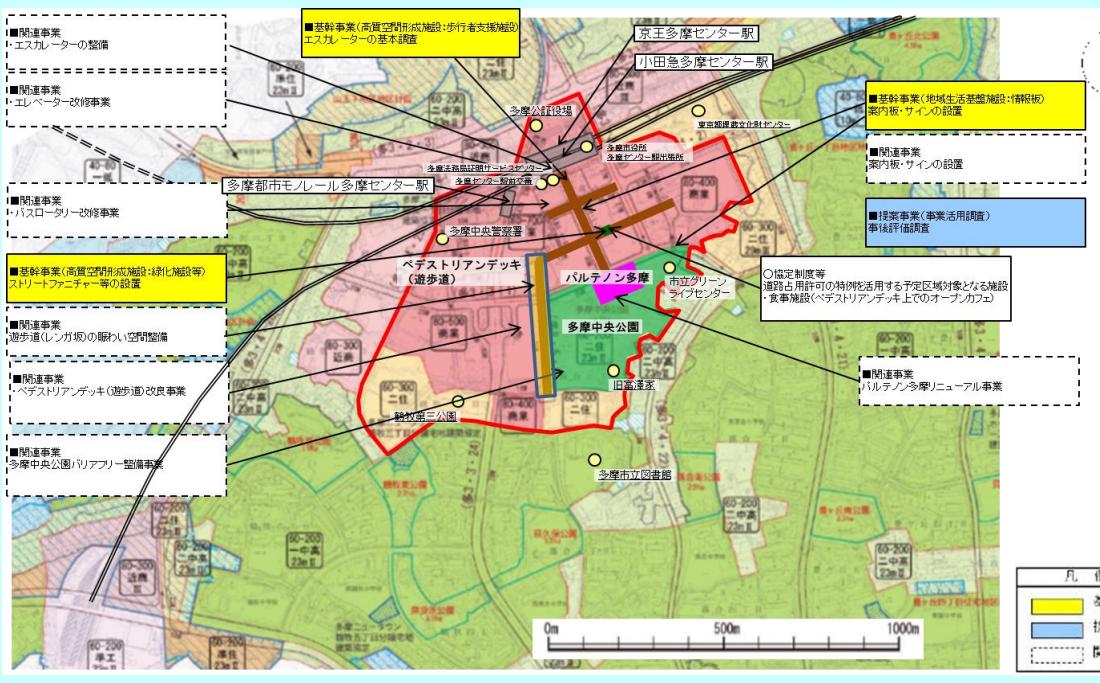
令和4年2月

東京都多摩市

## 様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	東京都	市町村名	多摩市	地区名	多摩センター駅周辺地区			面積	63ha						
交付期間	平成29年度～令和3年度	事後評価実施時期	令和3年度	交付対象事業費	51.6 国費率 0.4										
事業名															
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(情報板) 案内板・サイン 高質空間形成施設(緑化施設等) ストリートファニチャー 高質空間形成施設(歩行支援施設) エスカレーター												
			提案事業 事業活用調査 事後評価調査												
	事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響								
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし			—			—						
			なし			—			—						
	新たに追加した事業	基幹事業	なし			—			—						
			なし			—			—						
	交付期間の変更	当 初	平成29年度～令和3年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響											
		変 更													
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指 標		従前値	目標値		数 値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期					
	指標1	多摩センター駅の乗降客数	人／日	従前値 基準年度	目標値 目標年度	モニタリング	評価値	△	あり	案内板・サインやストリートファニチャー等の充実もあり、乗降客数は増加傾向にあつたが、新型コロナウイルス(COVID-19)の流行により、外出が制限されたことから、従前値を下回ったと考えられる。	令和4年度中				
									なし						
	指標2	来訪者アンケート調査	%	従前値 基準年度	目標値 目標年度	モニタリング	評価値	○	あり	ストリートファニチャー等の整備により滞留空間が確保され、駅周辺のペデストリアンデッキの休憩スペースが改善されたことから、来訪者アンケート調査結果に影響したと考えられる。	—				
									なし						
	指標3	オープンカフェ事業日数	日	従前値 基準年度	目標値 目標年度	モニタリング	評価値	○	あり	ストリートファニチャー等の整備による滞留空間の確保や、案内板・サインの設置によりわかりやすい施設説導が図られ、まちに賑わい環境が整備されたことで、オープンカフェの実施の増加に影響したと考えられる。また、新型コロナウイルス(COVID-19)の流行により、店内が密にならないようにするため、積極的にオープンカフェを実施していることも大きく影響している。	令和4年度中				
									なし						
	指標4							○	あり	—	—				
									なし						
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指 標		従前値	目標値		数 値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期					
	その他の数値指標1			従前値 基準年度	目標値 目標年度	モニタリング	評価値	○	あり	—	—				
									なし						
	その他の数値指標2							○	あり	—	—				
									なし						
4)定性的な効果発現状況	・多言語化対応した案内板・サインの設置により、目的地を把握しやすくなった。 ・アダプト団体と意見交換することで、ストリートファニチャーの整備に住民の意向が反映され、地域住民に親しみのある滞留空間が創出した。														
	実施内容				実施状況			今後の対応方針等							
	5)実施過程の評価	モニタリング	オープンカフェ事業日数把握によるモニタリング			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			●	今後もオープンカフェ事業日数の計測を継続的に実施していく。					
		住民参加プロセス	アダプト団体との意見交換			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			●	今後も市民の意見を聞いて、まちづくりを行っていく。					
		持続的なまちづくり体制の構築	なし			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									

## 様式2-2 地区の概要

多摩センター駅周辺地区(東京都多摩市) 都市再生整備計画事業の成果概要							
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値
大目標 コンパクトな都市構造への再編を目指す多摩ニュータウンの広域拠点・駅拠点にふさわしい魅力と賑わいあふれる街づくり  目標1: 多摩センター地区らしい賑わいあふれる空間づくりによる都市機能の誘導 目標2: 住民や来訪者に"やさしい"街の推進(おもてなし、ユニバーサルデザイン) 目標3: まちづくりへの住民、企業等の主体的な参加の推進	多摩センター駅の乗降客数 来訪者アンケート調査 オープンカフェ事業日数	単位:人/日 単位:% 単位:日	173,131人/日 H27 12.2% H28 13日/年 H27	179,650人/日 R3 24.4% R3 60日/年 R3	109,828人/日 R3 43.2% R3 308日/年 R3		
							
まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハローキティストリートは、ストリートファニチャー等(植栽帯一体化ベンチ)の整備により、滞留空間を創出し、賑わい環境が向上した。</li> <li>オープンカフェの実施により、賑わいが創出され、駅拠点としての魅力が向上した。</li> <li>ストリートファニチャー等の整備による滞留空間の創出や、オープンカフェの実施により、商業空間の賑わいを創出している。</li> <li>多言語化対応している案内板・サインが設置されたことにより、外国人観光客が滞留しやすい環境が図られた。</li> </ul>						
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>多摩センター駅のメインストリートである「パルテノン大通り」にストリートファニチャー(ベンチ等休憩施設)設置による滞留空間の創出や、沿道施設の1階部分のリノベーション等の促進を行い、居心地が良く歩きたくなる、回遊性のあるまちなみ形成を図る。</li> <li>更なる賑わい環境の創出を図るため、パルテノン多摩、多摩中央公園、中央図書館等、駅周辺施設のリニューアル整備を推進し、商業施設との相乗効果を発揮し、人の流れを生み出す。</li> <li>多摩センター駅周辺におけるベデストリアンデッキ(遊歩道)やバスロータリーの改修検討に併せ、歩行支援施設を整備するなど、誰もが移動しやすい環境の形成を図る。また、駅周辺の施設へのアクセスの際に雨などに濡れず、快適に移動ができるよう、屋根等の整備の必要性を検討するなど移動環境の充実を図る。</li> </ul>						